

令和7年度第5回美幌町義務教育学校開校検討委員会（意見交換結果）  
意見交換テーマ「新しい学校の配置イメージについて」

〇ご意見について、「かしわの木」「学校の配置」に分類して整理しました。

1 かしわの木

（全般）

- ・どちらが子供たちの教育環境にとって良いかでの判断になるのでは。B
- ・教室を広めに設計したいと考えた時にどのような配置が良いかが判断基準となる。B
- ・かしわの木を残したことによって子供たちの教育環境が壊されることだけはしたくない。教育環境を優先したい。B
- ・かしわの木がある事で制限がかかっている。B
- ・地域の人にも開放する場にかしわの木があって、何かを決めるのに、かしわの木が支障になっては良くないのでは。B
- ・老木もいつまで耐えられるかわからない。B
- ・毎回かしわの木の話をしている。増築する校舎を配置し、その結果残せたから残したで良いのでないか。増築する校舎は、教室やサブアリーナなどもあるため、使い勝手の良い配置や規模にした方が良い。C
- ・増築する校舎の規模を決めその配置でかしわの木の扱いを決めれば良い。かしわの木のことばかり気にする必要もないのではないか。C
- ・かしわの木について、大人世代は思い入れがあるが、次世代の子供たちからすると関係ないのでは。歴史の伝え方を考えれば良いのでは。D
- ・文化財とともに成長するというのはとても良いことだと思うが、図面を見る限り課題が多いと感じる。D

（伐採について）

- ・かしわの木 No.1・2 は、劣化具合により伐採もやむを得ない。A
- ・南東側に広く増築できるのであれば、かしわの木 No.1・2 を伐採するのもやむを得ない。A
- ・かしわの木 No.1・2 は支障があるのであれば切ったほうが良い。他の木も切って最低限であれば良い。地元で育てていないので、かしわの木に対してそこまで思い入れはない。C

- ・かしわの木 No. 3・4・8 は、安全のため伐採はやむを得ないのではないか。A
- ・かしわの木 No. 3・4 を伐採し、職員駐車場にするのはどうか。D
- ・Ⅱ案を基本にかしわの木を切って、柔軟性を持つ案が良い。通路は確保する。B
- ・Ⅱ案としながら、かしわの木は切っても良いのでは。他にもかしわの木があるので、絶対に残さないとはならないのでは。B
- ・今回の資料では、増築する校舎の規模や配置、そこに何学年が入るものなのかわからない。しかし、歪な形状の校舎を建てると、非常に使い勝手が悪いため支障となるのであれば切るべき。また、かしわの木があることで日陰を気にするのであれば切ってしまった方が良い。C
- ・前回同様、美幌小学校敷地で義務教育学校を整備するとしているので、それを第一にして支障があるのであれば切れば良い。C
- ・増築する校舎の配置を検討して、どうしても切らなければならないのであれば切れば良い。C
- ・ここで義務教育学校を作るため、まずはそこが最優先である。学校を作るにあたって支障のあるものは切れば良い。C
- ・かしわの木をもし伐採する場合には、ご神木としての供養はした方が良い。A

(保存について)

- ・かしわの木 No. 5・6・7・9 は保存で良い。A
- ・かしわの木 No. 5～9 については、残せるのであれば残しては。B
- ・ふるさと教育を考えると木は残すべきでは。D
- ・かしわの木は安全面（倒木の恐れ）に配慮することが必要。安全面が担保できるのであれば残すべき。D
- ・かしわの木が「生きて残っている」ということに意味があると思う。D
- ・Ⅱ案をアレンジしてかしわの木をコの字で囲むように建設することはできないのか。D

## 2 学校の配置

### (増築全般)

- ・ 既存の1階部分を解体して3階建ての校舎を建てる方が、かしわの木も残る案としてあり。 B
- ・ 複雑にすると除雪がしづらい。 B
- ・ 校舎の増築により近隣の建物の日影を気にするのであれば、そもそも全体を3・4階建てに整備したほうが良い。 C

### (東・南東側増築ゾーン)

- ・ 東側に駐車場を増設しては。 A
- ・ II案の東側の増築部分は既存校舎から少し離れているが、南東側と同じようにつけてしまっは。 D
- ・ 南東側に増築すると廊下、通路が長くなる。 A
- ・ 南東側に増築する場合、教室をうまく増やせるのか。 A
- ・ 南東側に教室を増やした場合、廊下の取り方などが難しいのではないか。 A

### (北側増築ゾーン)

- ・ 北側校舎の屋根の改修は可能なのか。 A
- ・ 北側の増築校舎もデッドゾーンができてしまうので、渡り廊下を2本作るのが良いのでは。 B
- ・ 北側の増築校舎を1階建てにしたのは良いアイデアだと思う。 B
- ・ 北側の増築校舎は、生徒の一体感が薄くなってしまいうため配慮が必要（疎外感を感じる）。家庭科室や理科室などの特別教室を主とするべき。 D

### (グラウンド周辺・駐車場)

- ・ グラウンド南側に駐車場を移転しては。 A
- ・ 遊具の配置場所は、グラウンド南側では遠くなる。 A
- ・ イベントや行事の際は、町の各施設を活用できるので駐車場面積は足りる。 A
- ・ かしわの木 No. 5~9の空きスペースの活用方法の検討が必要。遊歩道や完全な芝生にする、憩いの場（ベンチ）、畑（日照的に難しいかも）、ツリーハウスなど。 D

(動線)

- ・ 両側からの通路を確保した方がいい。 B
- ・ 安全面を考えたときに、通路が一方通行しかないというのは避けたい。 B
- ・ Ⅱ案のように東西両側に通路はあったほうが良い。 児童生徒数の減少など様々な理由で施設の用途が変わった際、出入り可能な通路が複数あったほうが使いやすい。 C
- ・ 今と同じように東西に入口があることは良い点だと思う。 防災面でも有利。 D

(サブアリーナ)

- ・ サブアリーナの配置がどうなるのかは示されていないので、こういった形になるのかも気になる。 B
- ・ 一体型で同じ空間で活動するのが良いという提案があったが、1回目の会議でサブアリーナを作ると言っていた。北中の体育館はどうなるのか。 B
- ・ 今の子供たちの人数で令和13年度の人数を試算しているが、実際はもっと減るのではないか。その場合はサブアリーナが必要になるのか。もっと有効な使い方はないか。 B